

小3から始めた海外研修や留学。
中学になってから英語の幅が広がりました。

中1の夏休み、イギリスのヒースフィールドヤーマースクール（2週間コース）に参加。



中1

ホストファミリーは知り合いの日本人宅だったので、少し安心。合間にヨーロッパ観光も楽しみました。



学校の調理実習でカップケーキを焼きました。日本と違う味わいでびっくり!



小5

さまざまな留学の相談に乗ってくれる「100留学Net」で、アメリカ・コロラド州への短期留学を申し込みました。相にているのは先生。



小3

小3の春休み、日通旅行の海外研修に参加しました。中央が一番小さい女の子が愛結さん。グアムの「ハマモトワールド」研修施設で。



小3、4のときの研修旅行と違って、正式な短期留学だったので、はじめは緊張しましたが、クラスメートやホストファミリーとすぐに仲良くなりました。



小4

夏休みに、静岡にあるオープン英語学院のオーストラリア・ケアンズ研修に参加しました。先輩が愛結さん。ユーザーでグリーン賞観光をしたとき。



アメリカの小学校で生活してみて、小学生でも自己責任を覚悟する国だと実感したそう。学校のカフェテリアで。



大庭愛結（あゆい）8歳
（中学2年生）

小学生の海外体験が
中学英語に生きている

愛結さんが初めて単身で海外に渡ったのは、4年生になる前の春休み。旅行会社のパンフレットを見て、自分から海外研修を希望したそうです。

「小さい頃から好奇心旺盛な子でした。外国人を前にしても恥ずかしくないことがなかったため、異文化体験をさせようと思ったんです」と、愛結さんの研修のきっかけを語るお母さん。初めての研修は、グアムで学生寮に10日間滞在するというものでした。当時3年生だった愛結さんは、一人で飛行機に乗って発生活ができたという大きな自信をつけて帰ってきたそうです。

すっかり味を占めた愛結さんは、その年の夏休みにも短期研修を体験。今度はオーストラリアのケアンズに10日間のホームステイをしました。

「寮生活とは違い、日本と異なる

文化や生活習慣を直に感じることが「よし」とお母さん。そして愛結さんが一番印象に残っているというのが、5年生の春休みに訪れたアメリカ・コロラド州での短期留学。「むこうで学校の授業に参加したんですが、授業中に睡っている子がいてビックリしました。さすがに自由の国アメリカだなって思いましたね」とお母さん。

そして中学1年生の夏休みには、イギリスに1か月ホームステイをし、サマースクールも体験。4回の海外体験を経て、愛結さんの英語力は上達したのでしょいか。「今年の夏休みには家族でハワイへ旅行に出かけたんですが、ショーを見ながら私に同時通訳をしてくださいました」とお母さん。

そんなエピソードからもわかるように、愛結さんは将来英語を生かした通訳の仕事をしたと言います。「いろいろな国の人との会話を楽しみたいんですが、将来の夢を語る愛結さんですが、中々にならなからメキメキと英語の成績がアップしたそうです。

「これまでではわかる単語で話していたんですが、文法を習ってから文章で話せるようになって、点と点があがった感じがしました」（お母さん）

「10点アップ」の秘テク／公文とそろばん／親子で開運ライフ

AERA Kids
with Kids

2018年夏
定価780円

ウィズキッズ冬号



公立小学校の最前線教育も紹介!

「使える英語」の身につけ方

中学・高校で勉強したはずなのに、英語が全く話せない! そんな親の苦い経験から、わが子には英語を話せるようになってほしいと考える方も少なくありません。小学校の英語教育が変わろうとしている今、「使える英語」の身につけ方を探りました。

取材・文 高橋亜矢子 イラスト 丹下京子

これからの時代、やっぱり英語が「使える」といい!



グローバル社会では、ネイティブだけでなくノンネイティブ同士のコミュニケーションも